読図講習会に参加して

やまびこ山想会　　毛利 浩実

５月２８日８時３０分より、大高緑地公園で行われた読図講習会に初めて参加しました。講師の豊川山岳会の河合先生の指導は順序だてた的確な説明で、本当に解りやすかったです。

まず、最初にノースマーク、リングなどコンパスの各部の名称の説明、コンパスの持ち方の説明がありました。コンパスの針はＮとＳで長さが違うことその理由など興味深い話も教えて貰いました。次にコンパス１・２・３の説明があり、コンパスを使い、三角形や四角形を歩き元の位置に戻れるかの練習を行いました。

その練習の中で、過去の事例を元にいくつかの注意点を話していただきました。１・２・３だけではなく「４」できちんとした目印を定めることが大事ということ、また、磁北線とコンパスのＮの向きを１８０度間違える失敗の話は自分の経験からもとても勉強になりました。そうした細かい指導を頂きながら何度も繰り返し練習しコンパスにも慣れることができました。

続いて、実践として大高緑地公園の１／５０００の地図とコンパスを使い目標ポイントを探す練習を行いました。最初に、現在位置の把握、コンパスの長辺を現在地から目的地に正確に当て磁北線に合わせ体をきちんと進行方向に向ける。進行方向に目的物を仮置きしその目的物に向かって進めば目標点に到達できることの説明がありました。

しかし、実際にやってみると距離感がつかみづらかったり、起伏やトラバースした時に方向が判らなくなったりと難しさを痛感しました。また、同じ地点の往復でもかなり感覚に違いがでることは勉強になりました。

目標から目標の間に崖や柵があって直線でいけない時にどうするかとか、地図の１点を示していただきそこにターゲットを置く練習など色々のパターンを行いました。時間差で一人一人出発する練習はとても良かったです。不安になりながらも一人でターゲットを発見できた時の喜びは格別でした。

今回の講習は少人数で詳しい説明が聞け、繰り返し何度も練習ができ本当に勉強になりました。今回の講習を生かしこれからはより注意深く地図を読んで楽しく安全な山行をして行きたいと思います。

初めての参加で本当に貴重な体験をさせていただきありがとうございました。このコロナ禍の環境にあって今回の講習を開催していただきました岳連関係者の方々のご尽力に感謝申し上げます。